

2022年度 秋学期

卒 業 論 文

〇〇

指導教員: 〇〇 教授

立命館大学 情報理工学部

卒業研究3 (〇〇)

コース: 〇〇

学生証番号: 〇〇

氏名: 〇〇

## 内容梗概

本論文をまとめましょう

# 目 次

1	はじめに	1
2	図の挿入方法	2
	参考文献	

## 図 目 次

1	キャプション . . . . .	2
---	------------------	---

## 表 目 次

# 1 はじめに

はじめには、2 ページを目安に書きましょう。卒論は量が多いため、チェックする人は変更点を見つけるのが大変です。指摘して頂いた点は`\Ca{ }`で囲むことで文字が赤色になります。提出時（黒に戻すとき）は、`main.tex` の`\setcounter{ChangedColor}{0}`を 0 から 1 にしてください。

参考文献は `bibtex` を使いましょう。普段からゼミで使用している人は、`references` ファイルを自分のものに置き換えてください。`bibtex` の使い方は、`references.bib` を作り、`\cite{jmoni}` の様に本文で参照 [1] し、`jbibtex` コマンドでさくっとできます。論文データベースには、必ず `bibtex` 形式というのが用意されているはず。その内容をコピーすれば基本は大丈夫。参考文献のスタイルは、情報処理学会の出現順のものを使用しています。

## 2 図の挿入方法

EPS は図 1 のように入られます。章タイトルの上に図が来ることがないように。

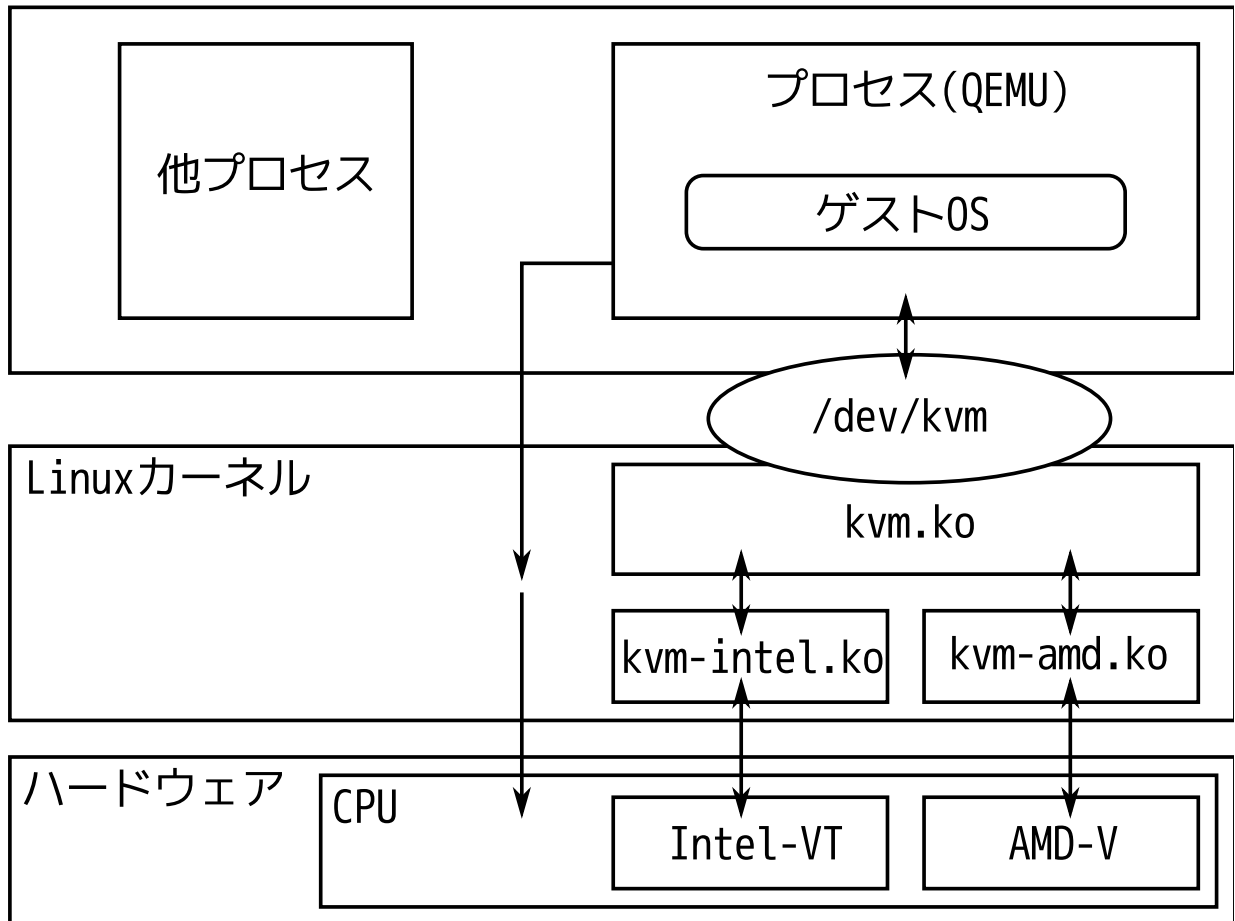


図 1 キャプション

## 謝辭

## 参考文献

- [1] Lei, J., Yang, X., Xiong, G., Jiang, W. and Liao, Y.: VMM-based Real-Time Embedded Systems, *International Conference on Embedded Software and Systems (ICESS 2008)*, pp. 213–128 (2008).